

正岡子規・下村為山（牛伴）「俳諧十六家」

〔明治26〕1

893年

京女花に狂はぬ罪深し

鎌倉は雨の中也時鳥

送り火や帰りてのぞく持仏棚

枯蘆をこぎ出て長し瀬田の橋

正岡子規